



## 第44回

地域おこし協力隊が行く！

# 実は隣のスゴイ人

曾於市内のスゴイ人にスゴイ人を紹介してもらうこのコーナー。前回のスゴイ人、勝原真由美さんにご紹介いただいたこの方は、「**熱い情熱で自ら行動し、やり遂げるスゴイ人**」とのこと。インタビュアーは江藤裕一でお届けします。

【今回のスゴイ人】

カーショップ スカイブルー

佐藤 俊郎さん



**今**回は、大隅町にある「カーショップスカイブルー」を営んでいる、佐藤俊郎さんにお話を伺いました。

佐藤さんは高校を卒業後、就職のため大阪へ。20歳の頃に大隅町へ帰郷します。その後も様々な仕事をしましたが、27歳の時に工具箱一つから故郷の大隅町にて「カーショップスカイブルー」を立ち上げました。

「本当にマイナスからのスタートだったので、一人一人を大事に頼まれたことを懸命にやっていたという想いと、お客様ののおかげで今までやってこられました」

また、子どもたちに音楽など表現を楽しんでもらいたいと佐藤さんは「ハーツ」というバンドで活動をはじめたり、パティスリークレーンさんや旬の蔵縁さんと一緒に企画し出店者10店舗、演者4組のハッピーハッピーマルシェというイベントを開催。

そのことから道の駅おおすみ弥

五郎伝説の里の店長にイベントをしてももらえないかとの話があり「皆さんが音楽で1日ゆつくりできるように楽しんでもらいたい」との想いで、「のどかフェス」という出店者40店舗、演者10組の音楽やダンスのステージを楽しめるイベントを開催しました。

「地域の表現したい人たちの発表の場となり、気軽に参加できるものに。みんなに、地域の楽しい記憶を残すようなイベントとしていきたいんです」

運営について、佐藤さんは「イベントは出店と演者とお客さんを大事にすることで良いイベントになる」と話します。

そのためには悪者になって言い切る厳しさを持ち、構成をしっかりと決める。また、「みんなに楽しんでもらいたいという想いとバンドメンバーや道の駅の方々など、一緒にやってくれる人たちがいるからこそ続けていける」と話し、感謝の気持ちが伝わってきました。

# 実は隣のスゴイ人



開業当時から使っている工具箱



外壁の色もスカイブルー



昨年ののどかフェス

## ▶インタビューを終えて

地域を想う熱い気持ちから、出店と演者とお客さんのそれぞれを大切にしていくこと、頼まれたことは懸命にやるというコンセプトを大事にそして実行している姿は素敵なことだと思いました。



## 元 協力隊の今日この頃

編集後記以外で出るのは久しぶりの三浦です。なかなかお会いする機会も減りましたが皆さんもお元気でしょうか？

今年の3月で曾於市にきて丸4年が経ちました。今は市報を手伝いながら、企画運営やデザインの仕事をしています。コロナの影響もあり、近頃はオンラインの打ち合わせが増えていきます。どんな状況でも楽しいことには前のめりでやっていきたいですね。曾於市にいますのでまだまだよろしくお願いします！

お久しぶりです！実家に帰った噂も流れていたようですが、平澤津ここにいます（笑）。

鹿児島に来て9月で5年目を迎えます。家族のように受け入れてくれた皆さんの身体の負担を少しでも軽減できるお手伝いができないかなと、資格を活かして女性専用ではありませんが鍼灸院を開業することになりました。

こんな時期にとも迷いましたが、免疫を上げて一緒に乗り越えていきましょう！

